

審判員派遣報告書

派遣事業名	第 54 回 全国中学校バスケットボール大会	派遣期日	令和 6 年 8 月 21 日～24 日
報告者	久保理恵	派遣先	新潟県長岡市

1 大会概要

大会名称	第 54 回 全国中学校バスケットボール大会	大会期間	令和 6 年 8 月 22 日～24 日
大会概要	ブロック代表と開催県の男女各 24 チームが予選リーグを行い、各リーグ上位 2 チーム（合計 16 チーム）でのトーナメント方式による優勝戦。		

2 担当試合 ※（試合内容は簡潔に書いてください）

日程	令和 6 年 8 月 22 日	会場	長岡市民体育館
審判クルー	CC: 峰 聰氏（長崎） U1:久保 理恵（香川） U2:竹内 捷氏（和歌山）		
担当試合	就実（岡山） VS 清心（開催地）		
試合内容	既に 1 敗した清心が、予選リーグ突破を賭けて、序盤から勢いのある攻めでリードした。43-41 で清心が勝ち、得失点差で清心と就実がグループを抜けた。		

日程	令和 6 年 8 月 23 日	会場	長岡市民体育館
審判クルー	CC: 工藤 雅子氏（茨城） U1:久保 理恵（香川） U2:吉田 常海氏（島根）		
担当試合	昭和学院（千葉） VS 豊野（埼玉）		
試合内容	関東 1 位の豊野と関東 2 位の昭和学院の対戦だった。1 試合を通してシュートがよく入り、足が動き続けた昭和学院が 73-59 で豊野に勝った。		

日程	令和 6 年 8 月 24 日	会場	アオーレ長岡
審判クルー	CC: 平澤 明男氏（東京） U1:工藤 雅子（茨城） U2: 久保 理恵（香川）		
担当試合	折尾（福岡） VS 京都精華（京都）		
試合内容	ポストプレーで得点を量産する京都精華に対して、速いカッティングからの合わせのプレーで折尾が対抗した。88-58 で京都精華が勝ち、決勝に進んだ。		

3 大会（研修会）を通して 《 学んだこと 感じたこと 県内審判に伝えたいこと 等 》

「ペイシエント」ホイッスル

インターハイ・全中の合同事前研修会（zoom）の1つのトピックスが「ペイシエント」と「ケイデンス」でした。「ペイシエント」ホイッスルとは、プレーのスタート～ディベロップ～フィニッシュを確認して、コンタクトの事実・責任・影響を分析してコールすることだと、共通の認識を持ち、大会に臨みました。

実際の場合で、デフェンスのイリーガルを見極めるために、もっと噛み砕いた解釈が必要だとアドバイスをいただきました。例えば、トルソーでのコンタクトはリーガルだけど、A 地点から B 地点に飛んでいる途中の空中のコンタクトはイリーガルであるし、オフェンスが抜けようとしているところに横からトルソーで当たっているのはイリーガル、といったように、です。

尾形美樹さんの目線を追ってわかったこと

本部派遣の尾形さんの試合を2ゲーム観させていただきました。せっかく直接観られるのだから、画面越しでは切れてしまう「目線」をずっと追うようにしました（山田依美里さんのアドバイスにより）。ベンチの様相を確認するタイミング、マジックタイムを計算する瞬間、セルフトークまで、観ていると本当に多くの情報を掴んでいることがわかりました。タイムアウトの請求がいつあったのか把握できているから、トラブルが防げるし、クロックの修正もスムーズにできます。結果として処置ミスが起こらない、レフェリーの責務であるスムーズなゲーム運営は、こういったことからできると感じました。

印象に残ったケース

女子準決勝という初めての大きな舞台で、大きな悔いが残ったケースを、正直に書きます。

4Q 残り2分を切ったところで、ヘルプディフェンスのケースが起こりました。コールザオヴィアス、コールザインパクト、という観点でも必ず笛を吹く必要がありました。リードの私の決断が遅れ、センターだったCC平澤さんが、セカンダリでオフェンスファウルを宣してくださいました。決断が遅れた理由は、ヘルプディフェンダーを捉えている時間が短く、どちらにつけるか迷ったからです。平澤さんは、京都精華のファウルを宣し、折尾にポゼッションを与えました。ゲームの持っていく方、終わらせ方という目線でも、それがベストだったと思います。メカニクスのベーシックでも、たくさんの背景を踏まえた上でも、自分がコールしたかった場面でした。

4 その他

昨年度私たちが経験した地元開催の全中を、今年度は新潟県の方が担ってくださり、素晴らしい大会となっていました。たくさんの人が関わり、支えている大会に参加し、選手にとって一生に一度の試合を、最終日まで担当させていただいたことを大変誇りに思います。審判をしていて良かったと心から思える幸せな時間でした。

今回の派遣に際して、ご支援いただいた香川県バスケットボール協会の皆様に、心より感謝申し上げます。

げます。経験したことを県内に還元できるよう、より一層活動に励んで参ります。引き続き、ご指導のほどよろしくお願い致します。